

# 久留米広域定住自立圏 の取組について



平成22年8月25日  
久留米市広域行政推進課

# 明日の豊かさと安らぎを育む 久留米広域定住自立圏



- 面積 **467.76**km<sup>2</sup>
- 人口 **460,462**人 (H22年4月1日現在)
- 世帯数 **170,410**世帯 (同上)
- 人口密度 **984.4**人/km<sup>2</sup> (同上)

# 生活環境など

## ■高等教育機関（H20学校基本調査）

工業高等専門学校 1校、短期大学 2校、大学 5校

## ■保健・福祉（H20医療施設調査、H20保育所現況調査）

医療施設数 736施設 10,985床（42.0人/床）

人口千人当たりの医師数 4.05人

（H17、全国平均2.18人）

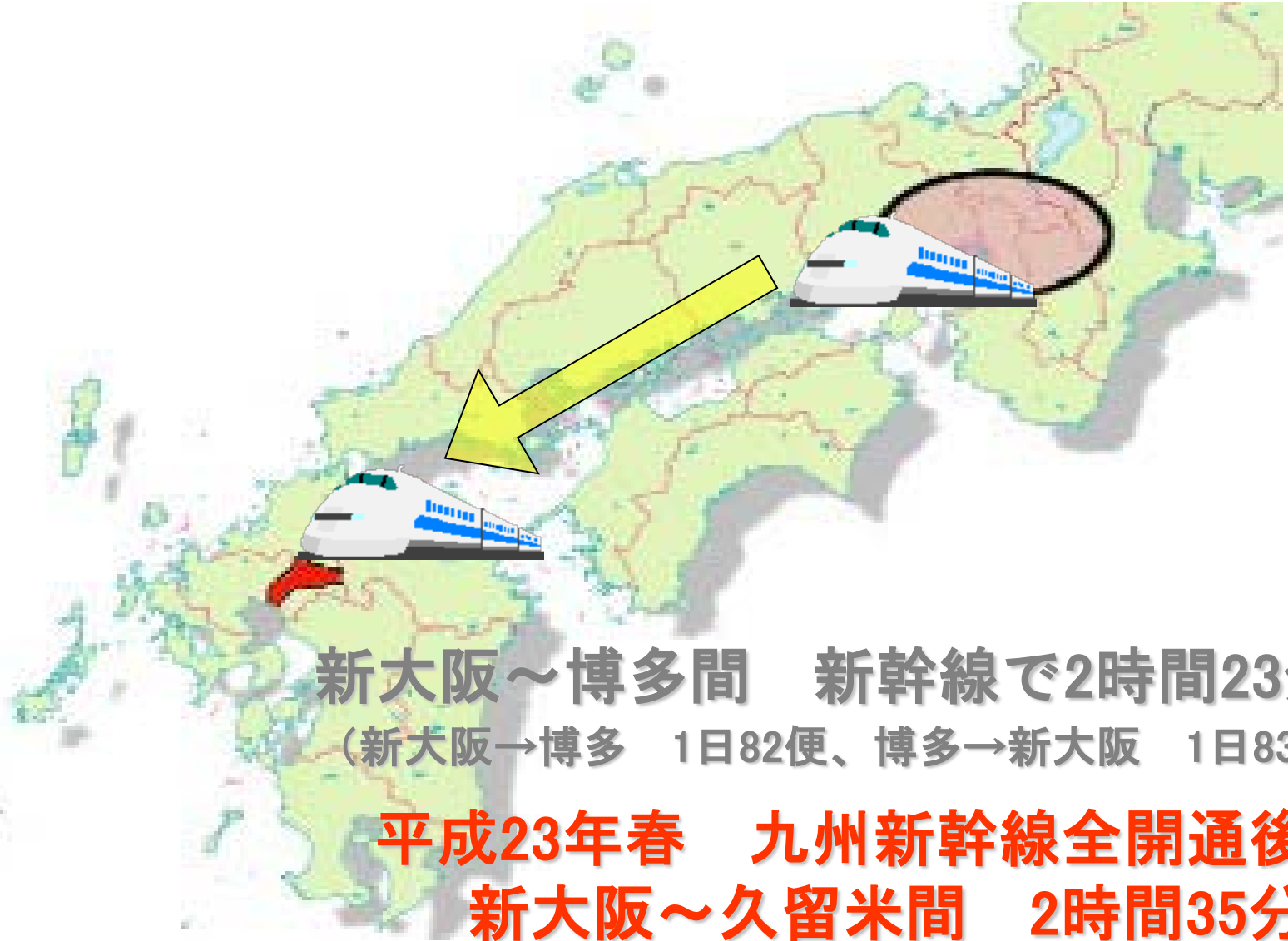
久留米大学病院 1,180床

（高度救命救急センター、救命救急センター、  
総合周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、  
特定機能病院、災害拠点病院、ドクターヘリ）

聖マリア病院 1,354床

（救命救急センター、総合周産期母子医療センター、  
がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院）

# 位置・アクセス 1



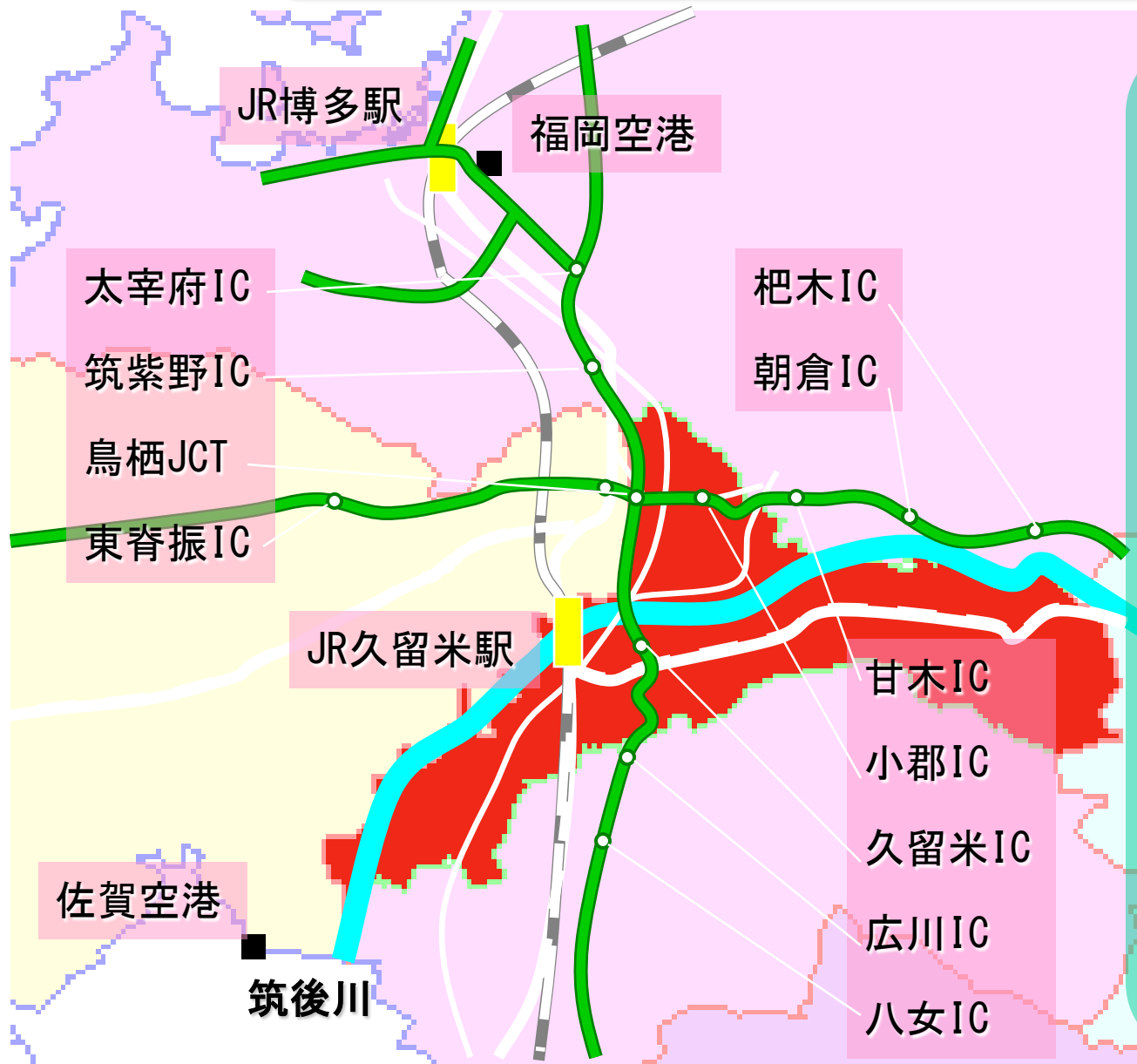
新大阪～博多間 新幹線で2時間23分  
(新大阪→博多 1日82便、博多→新大阪 1日83便)

平成23年春 九州新幹線全開通後は  
新大阪～久留米間 2時間35分！

# 位置・アクセス 2



# 位置・アクセス 3



私鉄（西日本鉄道、甘木鉄道） 計31 駅

（23年春には九州新幹線開通）

JR 鹿兒島本線、久大本線 計12 駅

交通の要衝に定住自立圏があります

九州縦貫・横断自動車道が交わる

# 位置・アクセス 4



# 農業

■ 農業産出額 **51,880**百万円 (H18年福岡県の農業産出額)

■ 耕地面積 **15,981**ha. (H17)

■ 主要農産物

米、麦、フルーツ（ぶどう、柿、梨、桃、いちご、いちじく、ブルーベリー）、野菜（ほうれん草、ねぎ、トマト、レタス、チンゲンサイ、水菜、カリブロ、アスパラガス）、茶、きのこ、生乳、つつじ・さつき、つばき、花（洋ラン、バラ、ガーベラ、カーネーション）、植木・苗木、  
い草 ほか



# 商工業

■就業者総数 **219,637**人 (H17年国勢調査)

第1次産業 8.1%

第2次産業 22.7%

第3次産業 69.2%

■工業出荷額 **423,143**百万円 (H18年工業統計調査)

■商業販売額 **1,149,710**百万円 (H19年商業統計調査)

■主要特産品

**ゴム製品、久留米餅、大川家具、日本酒、そうめん** ほか

■主要会社・工場

ブリヂストン、アサヒコーポレーション、ムーンスター  
ダイハツ九州、ノリタケスーパーアブレーション、  
内山緑地、鳥越製粉、日本精工九州、九州イノアック

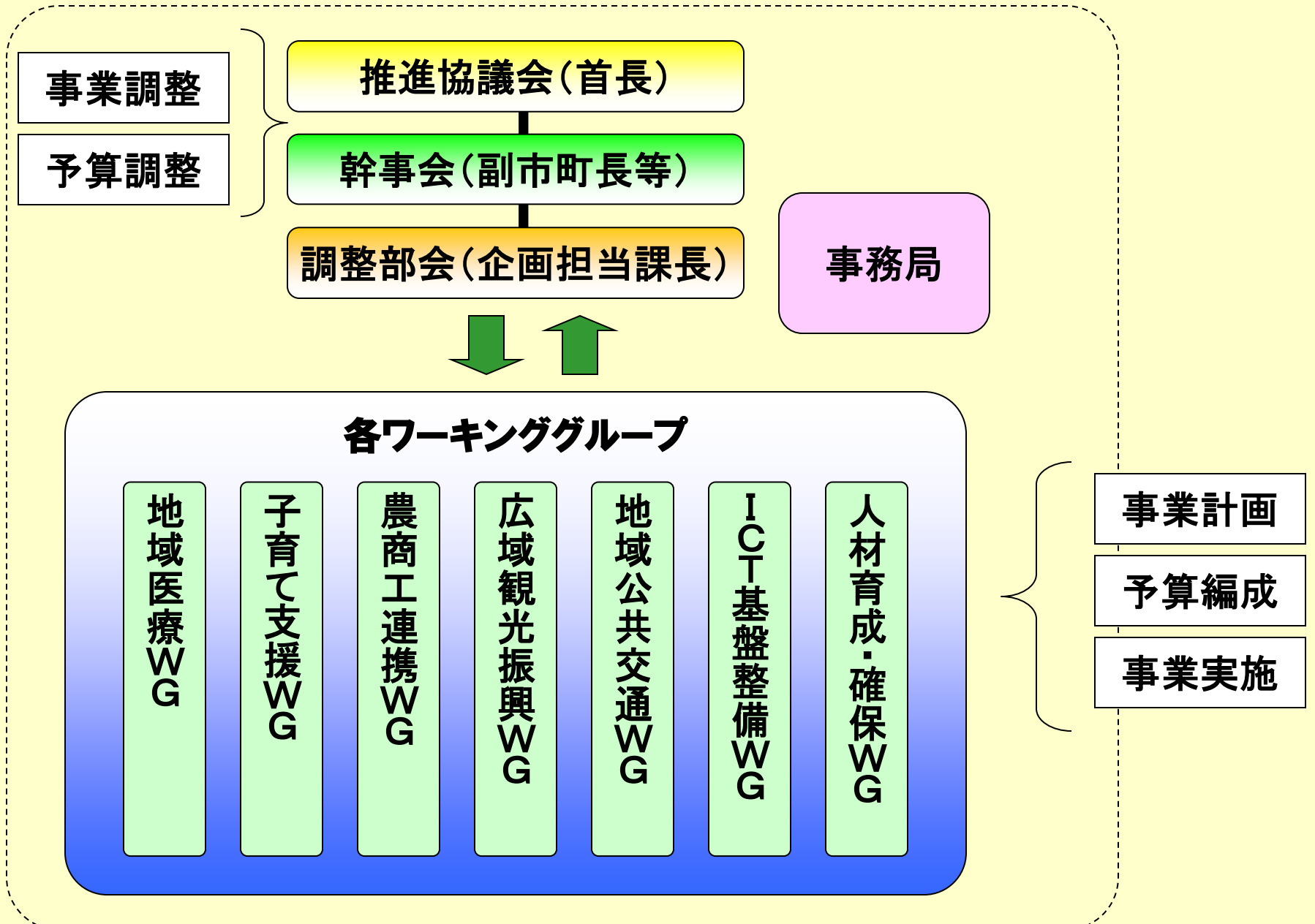
# 人口等の状況(定住自立圏内)

市町村名	人口	昼夜間 人口比率	通勤・通学者の割合		
			1位	2位	3位
久留米市	306,434	1.01	福岡市 7.7%	鳥栖市 3.6%	筑後市 2.0%
小郡市	57,481	0.81	福岡市 23.3%	久留米市 14.7%	鳥栖市 7.6%
大川市	39,213	1.01	柳川市 10.7%	久留米市 10.3%	佐賀市 9.3%
うきは市	32,902	0.90	久留米市 17.8%	朝倉市 16.0%	日田市 3.9%
大刀洗町	15,400	0.85	久留米市 19.8%	朝倉市 14.2%	小郡市 10.7%
大木町	14,282	0.80	久留米市 22.8%	大川市 11.5%	柳川市 9.0%

# 取組経過 1 / 3

時 期	内 容
H20年 7月～8月	総務省が定住自立圏構想の「先行実施団体」を募集
12月10日	「継続協議団体」に指定される
12月25日	全構成市町合同会議
H21年 1月22日	「先行実施団体」に指定される ※ 全国に計24市(九州では8市)
3月30日	「中心市宣言」を行う ※ 全国で15番目(九州では4番目)
6月22日	本市議会が「定住自立圏の形成に係る議会の議決事件を定める条例」を可決
7月 1日	「定住自立圏推進協議会設置要綱」を制定

# 推進体制



# 取組経過 2/3

時 期	内 容
H21年 8月10日	第1回推進協議会(首長会議)で取組(案)等を協議
9月	周辺市町議会で「定住自立圏の形成に係る議会の議決事件を定める条例」を可決
10月27日	第2回推進協議会(首長会議)で協定書(案)等を協議
12月	圏域全市町議会で「定住自立圏の形成に関する協定の締結について」の議案を可決
H22年 1月31日	久留米市長選挙
2月 2日	第1回共生ビジョン懇談会

# 共生ビジョン懇談会

◎委員数 15名（座長1名、副座長1名）

●取り組みに関連する民間団体等の代表者及び関係者

●構成 ・中心市 5名 + 周辺市町 2名×5市町

・各分野から2名を選出

・男性 9名、女性 6名（女性委員40%）

◎任期 平成22年2月2日から平成23年3月31日まで

# 取組経過 3/3

時 期	内 容
H22年 2月 5日	第3回推進協議会(首長会議)でH22・23年度の事業(案)等を協議
3月 4日	第2回共生ビジョン懇談会
3月13日	久留米広域定住自立圏形成協定合同調印式
3月18日	第3回共生ビジョン懇談会
4月 9日	第4回推進協議会(首長会議)で共生ビジョン合意
4月21日	久留米定住自立圏共生ビジョン策定、公表

# 久留米広域定住自立圏共生ビジョン

- ・名称：久留米広域定住自立圏
- ・構成市町：久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町
- ・計画期間：平成22年度～26年度の5カ年  
毎年所要の見直しをする



# 本圏域の現状・課題

- ・九州における交通の要衝である。
- ・平成47年の人口は対平成17年度比で12.8%減少。
- ・平成18年以降、人口の社会増減はマイナス。
- ・豊富な医療資源。
- ・子育て支援環境は極めて良好。
- ・福岡県民の食を支える主要な食料供給基地。
- ・商業は販売額、事業所数、従業員数とも減少中。
- ・バスの路線廃止が相次ぐ。
- ・ブロードバンド未整備地域の存在。

# 広域連携の方向性

◎ 働く場の確保

企業誘致

産業振興

◎ 子育て支援の充実

子育て環境の充実

救急医療の充実

◎ 交流の促進

交通体系の再構築

広域道路の整備

# 圏域の将来像

明日の豊かさと安らぎを育む  
久留米広域定住自立圏の創造

安全安心な  
生活環境の確保

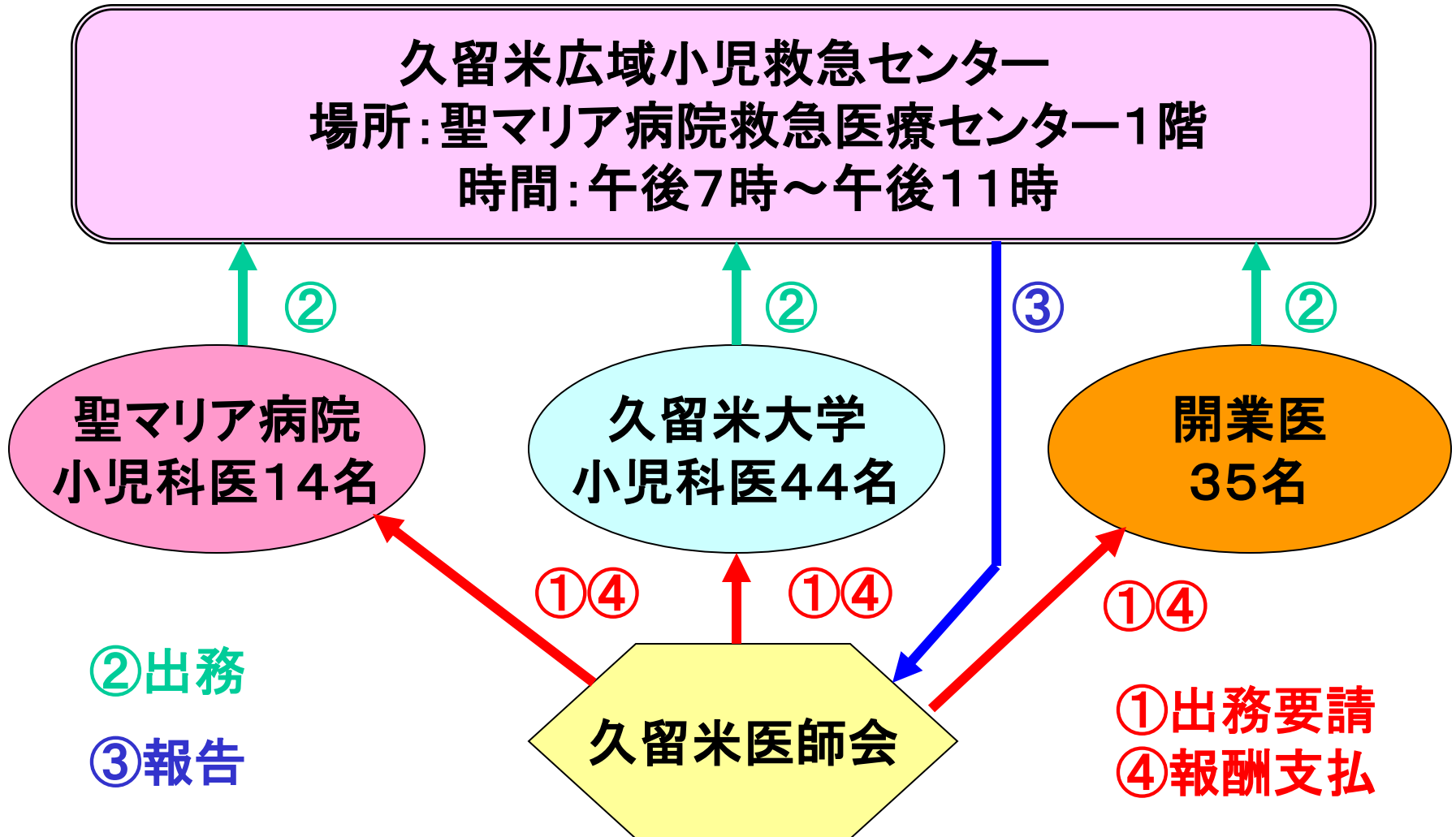
足腰の強い  
産業経済の確立

# 具体的取組 1 / 5

## 1 生活機能の強化の分野

部門	項目	協定の取組概要
医療	(1) 久留米広域小児救急センターの運営体制の確立	・ 小児救急センターの安定的な診療体制の確立と、より高度な小児救急医療の提供のための支援を行う。
	(2) 圏域救急医療体制等の研究	・ 圏域における救急医療体制の現状把握と課題整理、将来的な救急医療体制等について調査研究を行う。
		・ 調査研究の結果を踏まえた課題解決への取組を行う。

# 小児救急医療体制図



# 具体的取組 2/5

部門	項目	協定の取組概要
福祉(子育て支援)	(1) 発達支援事業の広域化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教育研究所で行う発達支援事業(相談・療育・訓練)について、広域的な利用を可能にする。</li> </ul>
	(2) 保育事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病児・病後児保育事業(久留米市の委託施設)について、広域的な利用を可能にする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の一時保育について、圏域の住民の相互利用を可能にする。</li> </ul>
	(3) 広域的な子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 久留米市子育て支援センターのサロン機能と来所相談機能について、広域的な利用を可能にする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファミリーサポートセンター事業について、圏域の住民の相互利用を可能にする。</li> </ul>

あなたの子育てを応援します。

お子さんの発達が気になるとき

ことばの遅れが気になって  
お友達とうまく遊べない  
名前を呼んでも振り向かない  
お座りが遅くて  
目が見えているのかしら など



幼児教育研究所

# 発達支援事業1

## ○相談事業

種 類	相談内容
電話相談	「子育て」全般
乳幼児相談	悩み相談事を具体的に伺い、事業を紹介
育児相談	育児問題に関して、専門医が対応
言語相談	言葉の遅れ等に、専門医が対応
療育相談	発達の遅れや障害を持つ乳幼児の相談対応
医療相談	療育指導や機能訓練について専門医が対応
教育相談	教育・福祉の情報提供
排泄相談	排泄の自立指導法を指導
発達フォロー相談	障害の状況に応じて指導助言



# 発達支援事業2

## ○療育事業

パール学級

コアラ学級

アミー学級

バンビ学級

ピッコロ学級

ティーニーエンジェル学級

## ○訓練事業

動作訓練

言語訓練

行動訓練

# 病児保育とは？

お子さまが、発熱されたり・・・などのとき、仕事が休めなかったり、大切な用事で外出しなければならなかったり。でも他に見てくれる人がいない。

そのようなとき、ご利用いただけるのが、この病児保育です。専任の看護師と保育士がおこさまを保護者に代わり日中お預かりします。

対象年齢 0歳～  
小学校3年生まで

利用時間  
7:45～17:45

利用料金  
日額2,000円

定員 10名

## 利用できるケース

- ・病気および病気回復期の乳幼児
- ・保護者の勤務の都合、傷病、事故、出産、冠婚葬祭など社会的にやむを得ない事由により、家庭での保育が困難

# 子育て支援センター

たのしい子育て応援します  
子育ての輪 ひろげましょう  
子どもたちにとっては  
楽しい遊びの広場  
子育て仲間にとっては  
語らいとやすらぎの場  
みんなの居場所です  
気軽においでください

## 事業

1. 子育て相談
2. エンゼル応援隊・専門支援
3. 子育て情報の提供
4. 子育て支援講座
5. 子育てサークルの育成支援

## 支援センター子育てサロン

親子でゆっくり遊んでリフレッシュを  
親子で自由に遊ぶ場や情報の提供をしています

# 具体的取組 3/5

部門	項目	協定の取組概要
産業振興	(1) 圏域産品のブランド化等による圏域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域の資源を組み合わせた新たな商品開発や圏域産品のブランド化等に取り組む。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域産品や圏域の魅力を福岡都市圏等にPRし訪問客の増加を図る。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域における商談会の開催や大都市圏での企業誘致セミナーの開催等に取り組む。</li> </ul>
	(2) 広域観光振興の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域の地域資源を活用した体験交流型の新たな観光商品を開発するとともに、圏域の魅力や観光商品をPRする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ性のある観光ルートの設定や観光案内機能の充実を図る。</li> </ul>

# 具体的取組 4/5

## 2 結びつきやネットワークの強化の分野

部門	項目	協定の取組概要
地域公共交通	(1) 地域公共交通ネットワークの再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圏域の公共交通の課題について調査検証し、利便性向上に向けた総合的な調整と公共交通ネットワークの再構築に取り組む。</li> <li>・ 公共交通の利用に対する住民意識の啓発と、効果的な情報提供等の利用促進策を実施し、公共交通の維持、存続に努める。</li> </ul>
ICTインフラ整備	(1) 超高速ブロードバンドの整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 超高速ブロードバンド整備に取り組み、ネットサービス等を提供する。</li> <li>・ 超高速ブロードバンドを活用し、企業誘致、ブランドや観光情報の発信に取り組む。</li> </ul>

# 具体的取組 5/5

## 3 圏域マネジメント能力の強化の分野

部門	項目	協定の取組概要
人材の育成及び確保	(1) 人材の派遣・交流、確保	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職員の派遣や人事交流、専門研修をはじめとした合同研修等を実施する。</li><li>・ 民間企業等の職務経験を有する人材の採用ノウハウの提供及び外部専門知識の活用等を行う。</li></ul>



ご清聴ありがとうございました。

久留米市企画財政部広域行政推進課